

ことばへのイメージ

メディア接触による言語への影響

方言の場面差・属性差②

方言の場面差・属性差①

方言を話す人々への意識

訪問された際のあいさつ

個人商店でのあいさつ

気づかない方言②

気づかない方言①

はじめに

トップ



ことばへのイメージ

文字サイズ変更 小 中 大

国文学科3年 岡本拓己

三川町におけることばの意識調査

1.はじめに

三川町に住む人々が、ことばに対してどのような意識を持っているかを調査した。三川町のことばをはじめ、鶴岡・酒田・内陸の山形県の有名なことば、そして共通語である東京のことばへの三川町の人々の意識を調査した。

2.使用した調査項目

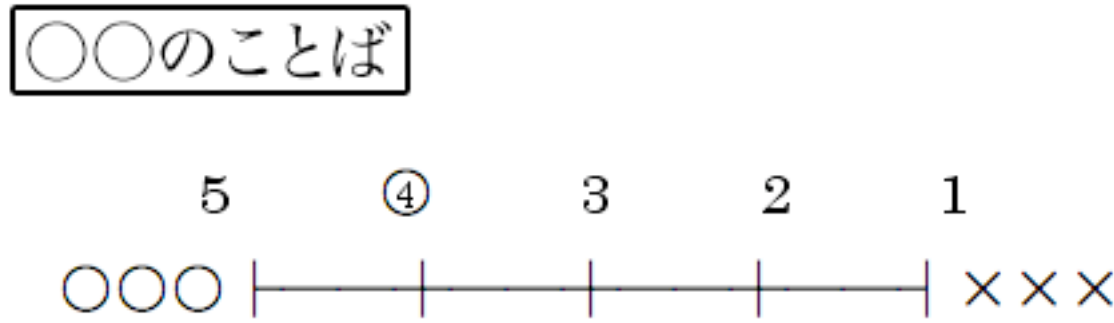
アンケート調査：設問番号12（1）～（5）
方言と共通語の使い分けを意識しているか。自分のことばに三川町のことばの特徴があるか。三川町のことばをはじめ、三川町のことばをはじめ、鶴岡・酒田・内陸のことば、そして東京のことばにどのようなイメージを持っているか調査した。

3.分析対象データ概要

有効データ数
若年層（10-20代）：42人 中年層（30-50代）：137人 高年層（60代-）：83人
男性：131人 女性：134人

4.結果報告

4.5.（5）いくつかの地域のことばに対してあなたが抱いている印象についてお聞きします。「明るい／暗い」から「好き／嫌い」まで、その地域のことばのイメージとして当てはまる目盛りの部分に○をつけてください。



上の図のように、各地域のことばのイメージに点数をつけていく。5に近いほど良いイメージであり、一つの地域につき5項目ある。その各項目の数値（地域は5項目の合計の数値）の高いものから順に地域別でランク付けしたものが下の表1である。

表1.地域イメージランキング

明：明るい 都：都会的 親：親しみやすい 清：きれい 好：好き

ラン ク	地域	三川	鶴岡	酒田	内陸	東京
1	東京(17.53)	若・親(4.22)	中・親(3.65)	若・明(3.47)	若・明(3.15)	若・都(4.57)
2	三川(16.51)	若・明(4.02)	若・明(3.62)	高・明(3.30)	中・明(2.94)	中・都(4.21)
3	鶴岡(16.38)	中・親(3.98)	若・親(3.54)	中・明(3.24)	高・明(2.93)	高・都(3.91)
4	酒田(14.92)	若・好(3.95)	中・好(3.52)	中・親(3.16)	若・好(2.80)	若・清(3.76)
5	内陸(12.52)	高・親(3.71)	高・親(3.51)	若・親(3.16)	高・清(2.62)	高・明(3.69)

表1より、地域のランキングを数値的に見れば三川町の人々には**東京のことばが一番イメージがよく、内陸のことばが一番イメージが良くない**ようである。
また、三川・鶴岡では親しみやすい、酒田・内陸では明るい（暗い）、東京では都会的が全ての層で入っていて、**年層が違っても大きくイメージの違いは無い**ようである。
また、年層別でどんな項目の数値が高いのか、ランキングにした。

表2.年層別ランキング

明：明るい 都：都会的 親：親しみやすい 清：きれい 好：好き

ランク	若年層	中年層	高年層
1	三川・明(0.49)	酒田・親(0.10)	内陸・都(0.50)
2	東京・都(0.34)	鶴岡・好(0.09)	三川・都(0.44)
3	三川・親(0.25)	鶴岡・親(0.08)	鶴岡・都(0.44)
4	三川・好(0.22)	酒田・好(0.04)	東京・親(0.36)
5	鶴岡・明(0.22)	東京・清(0.03)	酒田・都(0.22)
6	内陸・好(0.18)	三川・親(0.01)	内陸・清(0.20)
7	内陸・明(0.14)	三川・清(0.01)	東京・好(0.18)
8	酒田・明(0.14)	鶴岡・清(0.00)	鶴岡・清(0.11)
9	酒田・好(0.13)	東京・都(-0.02)	東京・明(0.10)
10	東京・清(0.10)	酒田・清(-0.03)	内陸・親(0.07)

（数値）は、**各地域の平均値との差**である。たとえば、三川の「明るい」というイメージに対しての全体（三川町の人々全員）の平均値が3.14、三川の「明るい」というイメージに対しての若年層の平均値が3.63だとしたら、若年層の平均値（3.63）－全体の平均値（3.14）で**差は0.49**である。この0.49が、若年層が三川町のことばに対して持っている**明るいというイメージの強さ**である。
表2より、地域で見ると若年層は三川、中年層は鶴岡・酒田、高年層は表2でトップの東京と最下位の内陸が多い。綺麗に割れた。項目で見ると、若年層は明るい・好き、中年層は親しい・きれい(きたない)、高年層は都会的が多いことがわかる。これも綺麗に割れた。数値で見ると、**若年層はトップ5中3つ**三川が入っている。自分の住む町だからか高評価である。**中年層**は他の年層に比べてあまり高くないようだ。また、**1位～4位までが鶴岡・酒田の親しい・好き**である。高年層では1位の内陸の都会的が全体で見ても一番高い。また、都会的だけでトップ5中に東京以外の4つが入っている。